

# ADOBE CREATIVE SUITE 3

## Mac OS X Leopard への対応について

本ドキュメントは以下のアドビ製品を対象としています。

- Adobe Acrobat® 8.1.1 Professional  
および Adobe Reader® 8.1.1
- Adobe After Effects® CS3 Professional
- Adobe Bridge CS3
- Adobe Contribute® CS3
- Adobe Creative Suite® 3  
(全エディション)
- Adobe Device Central CS3
- Adobe Dreamweaver® CS3
- Adobe Encore® CS3
- Adobe Fireworks® CS3
- Adobe Flash® CS3 Professional
- Adobe Flash Player 9
- Adobe GoLive® 9
- Adobe Illustrator® CS3
- Adobe InCopy® CS3
- Adobe InDesign® CS3
- Adobe Photoshop® CS3  
および Photoshop CS3 Extended
- Adobe Photoshop Elements 4.0
- Adobe Photoshop Lightroom®
- Adobe Premiere® Pro CS3
- Adobe Soundbooth™ CS3
- Adobe Stock Photos
- Adobe Version Cue® CS3
- Adobe Creative Suite 2, Macromedia Studio 8 を含む、その他のアドビクリエイティブソフトウェアの旧バージョン

**Q. Creative Suite 3 ユーザにとって Mac OS X Leopard (v10.5) は重要なのでしょうか？**

**A.** はい、Apple の最新バージョンのオペレーティングシステムである Mac OS X Leopard は、クリエイティブプロフェッショナルに、効率よく、生産性の高い新たなコンピューティング体験を提供します。アドビでは、Adobe Creative Suite® 3 アプリケーションが Mac OS X Leopard 上でもスムーズかつ信頼性高く実行されるよう、Apple 社と何ヶ月もの間、緊密に協同してきました。我々は、このすばらしい最新オペレーティングシステムに対応することを誇りに思うとともに、クリエイティブカスタマーの方々がインテルベースと PowerPC の両方の Mac で、Creative Suite 3 アプリケーションと Mac OS X Leopard の性能・価値を存分に発揮できるよう努めています。

**Q. Adobe Creative Suite 3 アプリケーションは Mac OS X Leopard (v10.5) に対応していますか？ また、現時点で完全対応が確認されていない製品は、いつ完全対応になるのでしょうか？**

**A.** これまでアドビと Apple が緊密に協同してきたことにより、CS3 アプリケーションとその関連技術 (Adobe Bridge CS3、Version Cue CS3、Device Central CS3 など) の大半は、すでに Mac OS X Leopard に対応しており、追加のアップデートを必要とすることはありません。しかし、次に挙げる CS3 アプリケーションに関しては、Leopard への完全対応のためにアップデートが必要となります。アップデートが必要な CS3 アプリケーションは、Adobe Acrobat 8 Professional、Adobe Premiere Pro CS3、After Effects CS3 Professional、Encore CS3、Soundbooth CS3 となります。Leopard に対応するための無償アップデートは、ビデオアプリケーション用を 2007 年 12 月に、そして、Acrobat 8 Professional および Adobe Reader 8 用を 2008 年 2 月にそれぞれ公開しました。各アドビクリエイティブアプリケーションの Mac OS X Leopard 対応状況の概要については、本 FAQ 2 ページ目の表を参照してください。

**Q. Creative Suite 2 や Macromedia Studio 8 といった旧バージョンのアドビクリエイティブソフトウェアを Mac OS X Leopard に対応させる予定はありますか？**

**A.** 旧バージョンのアドビアプリケーションのなかには、Mac OS X Leopard でのインストール・実行が可能なものもあります。しかし、これらは本来、最新のオペレーティングシステムが公開される数年前に開発、動作確認、発表が行われたものです。したがって、これらのアプリケーションに関しては、解決策のないインストール時の問題や、動作安定性、信頼性に関わる問題が発生する可能性があります。旧バージョンのクリエイティブソフトウェアに対しては、Mac OS X Leopard に対応するためのアップデートを提供する予定はありません。各アドビクリエイティブアプリケーションの Mac OS X Leopard 対応状況の概要については、2 ページ目の表を参照してください。

**Q. 引き続き Mac OS X Leopard 上での CS3 アプリケーションの動作検証は行われるのでしょうか？**

**A.** はい。アドビでは、クリエイティブプロフェッショナル製品の品質、安定性、信頼性に対して高い水準を設定し、Apple 社と密接に協同しながら Mac OS X Leopard のプレリリース版と最終出荷版の両方を用いて、Creative Suite 3 アプリケーションの動作検証を行ってきました。これらの動作検証の結果、CS3 アプリケーションの大半が Leopard 上でも十分なパフォーマンスを発揮できること (それ以外の CS3 アプリケーションでは、満足のいく実行結果が得られたものの、いくつかの問題に対してアップデートが必要であること) が確認されています。ただし、新しいオペレーティングシステムの登場によって予期せぬ問題が起こらないとは限らないため、予期せぬ問題にも対処できるよう、引き続き動作検証とユーザー体験の監視を行っていく予定です。なんらかの問題に遭遇した場合は、[www.adobe.com/go/wish\\_jp](http://www.adobe.com/go/wish_jp) にアクセスし、「不具合報告」をクリックして詳細をア

ドビにご報告ください。なお、ご報告いただいた問題は担当の CS3 製品チームが詳細に検証いたしますが、ご報告に対する返答をお送りすることはありませんので、あらかじめご了承ください。

Mac OS X Leopard 対応状況一覧表				
アドビ アプリケーション	Mac OS X Leopard に 対応済み	Mac OS X Leopard に 非対応	Mac OS X Leopard 対応するための アップデート	補足
Creative Suite 3 Design Premium	✓		Acrobat 8 Professional のみ 8.1.2 アップデータが必要。アップデートは公開済み	
Creative Suite 3 Design Standard	✓		Acrobat 8 Professional のみ 8.1.2 アップデータが必要。アップデートは公開済み	
Creative Suite 3 Web Premium	✓		Acrobat 8 Professional のみ 8.1.2 アップデータが必要。アップデートは公開済み	
Creative Suite 3 Web Standard	✓			
Creative Suite 3 Production Premium	✓		Premiere Pro CS3 3.1.1 アップデータリリース済み Soundbooth CS3 1.0 Leopard 対応 アップデータリリース済み AfterEffects CS3 8.0.2 Leopard 対応 アップデータリリース済み	
Creative Suite 3 Master Collection	✓		Premiere Pro CS3 3.1.1 アップデータリリース済み Soundbooth CS3 1.0 Leopard 対応 アップデータリリース済み AfterEffects CS3 8.0.2 Leopard 対応 アップデータリリース済み Acrobat 8 Professional のみ 8.1.2 アップデータが必要。アップデートは公開済み	
Acrobat 8.1.1 Professional	✓		Acrobat 8 Professional のみ 8.1.2 アップデータが必要。アップデートは公開済み	
Adobe Reader 8.1.1	✓		Acrobat 8 Professional のみ 8.1.2 アップデータが必要。アップデートは公開済み	
After Effects CS3 Professional	✓		AfterEffects CS3 8.0.2 Leopard 対応 アップデータリリース済み	
Contribute CS3	✓			
Dreamweaver CS3	✓			
Encore CS3	✓		Encore CS3 3.0.2 アップデータリリース済み	
Fireworks CS3	✓			
Flash CS3 Professional	✓			
Flash Player 9	✓			
GoLive 9	✓			
Illustrator CS3	✓			
InCopy CS3	✓			
InDesign CS3	✓			
Photoshop CS3	✓			
Photoshop CS3 Extended	✓			
Photoshop Lightroom	✓		Lightroom 1.3.1 アップデータリリース済み	
Adobe Premiere Pro CS3	✓		Premiere Pro CS3 3.1.1 アップデータリリース済み	
Soundbooth CS3	✓		Soundbooth CS3 1.0 Leopard 対応 アップデータリリース済み	
Bridge CS3	✓			
Version Cue CS3	✓			
Device Central CS3	✓			
Photoshop Elements 6 for Macintosh	✓			
Creative Suite 2		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
Studio 8		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
Acrobat 7.0 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり

## Mac OS X Leopard 対応状況一覧表

アドビ アプリケーション	Mac OS X Leopard に 対応済み	Mac OS X Leopard に 非対応	Mac OS X Leopard 対応するための アップデート	補足
Adobe Reader 7.0 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
After Effects 7 Professional および Standard (ならびにそれ以前のバージョン)		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
Contribute 4 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
Dreamweaver 8 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
Fireworks 8 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
Flash Professional または Basic 8 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
FreeHand® MX およびそれ以前		✓		アドビでは、新たなバージョンの FreeHand を開発・提供する予定がありません。また、FreeHand は過去 4 年にわたりアップデートされていません。FreeHand を Mac OS X Leopard 上でインストール・使用することを推奨しません。
GoLive CS2 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
Illustrator CS2 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
InCopy CS2 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
InDesign CS2 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
Photoshop CS2 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
Photoshop Elements 4.0 およびそれ以前		✓		解決策のない問題に遭遇する恐れあり
PageMaker® 7.x およびそれ以前		✓		すアドビでは、新たなバージョンの PageMaker を開発・提供する予定がありません。また、PageMaker は過去 5 年にわたりアップデートされていません。PageMaker を Mac OS X Leopard 上でインストール・使用することを推奨しません。

### Q. Mac OS X Leopard への対応にあたり、パッチが必要となる CS3 アプリケーションはどれですか？

A. アドビクリエイティブアプリケーションの Mac OS X Leopard 対応状況を以下の表にまとめています。この表には、どの CS3 アプリケーションが Leopard 完全対応のためのアップデートを必要とするかと、無償で提供されるこれらのアップデートが、いつ提供開始予定であるかが記載されています。

### Q. Mac OS X Leopard への対応に必要なアップデートは、どうすれば入手・インストールできますか？

A. 必要なアップデートはすべて、アップデートのダウンロードとインストールを処理するためにアドビ製品とともにインストールされている、Adobe Updater を通じて提供されます。Adobe Updater の自動通知機能が有効になっていれば、アップデートが公開され次第、自動的にユーザへの通知が行われます。アップデートのダウンロードとインストール処理は、画面の手順に従うことで完了できます。

また、別の手段としては、アップデートが必要な CS3 アプリケーションを起動し、メニューからヘルプ/アップデートを選択して Adobe Updater を起動。そして、必要なアップデートにチェックを入れて、「アップデートをダウンロードしてインストール」をクリックする方法もあります。（アップデートが必要な CS3 アプリケーションとその提供予定時期については、前出の質問の一覧表を参照してください。）さらに、<http://www.adobe.com/jp/downloads/updates/> にアクセスしてアップデートの有無を確認し、各 CS3 アプリケーションに関連するアップデートをダウンロード・インストールする方法もあります。

**Q. ボリュームライセンスを購入している場合は、どのようにして CS3 アプリケーションのアップデートを入手すればよいのでしょうか？**

**A.** 技術的には、ボリュームライセンスを通じて購入された CS3 アプリケーションの場合でも、Adobe Updater（メニューからヘルプ/アップデートを選択）を使用してアップデートをダウンロード・インストールすることができます。しかし、この種のアップデートの扱いについては、お客様の会社の社内規定に従うことが推奨されます。ソフトウェアのアップデートに関する社内規定について詳しくは、製品ライセンスの管理を担当する IT 担当者・技術者に問い合わせるようにしてください。CS3 用のアップデートをサイレントインストールする方法については、[www.adobe.com/jp/support/leopard\\_silentinstall/](http://www.adobe.com/jp/support/leopard_silentinstall/) を参照してください。

**Q. Design Premium や Production Premium といった Creative Suite 3 製品の各エディションが Mac OS X Leopard に対応していることは、どのような基準で判断されるのですか？**

**A.** Design Premium、Web Premium、Production Premium、Master Collection といった Creative Suite 3 の各エディションは、当該エディションの構成要素がすべて Leopard に対応することで Leopard 完全対応となります。つまり、CS3 Design Premium、CS3 Design Standard、CS3 Web Premium の場合、Mac OS X Leopard 完全対応となるには Acrobat 8.1.2 Professional へのアップデートが必要となります。（なお、上記の CS3 エディションに含まれている残りのアプリケーションは、すべて Leopard に完全対応しています。）CS3 Production Premium に関しては、Adobe Premiere Pro CS3、After Effects CS3 Professional、Encore CS3、Soundbooth CS3 に対するアップデートが必要です。CS3 Master Collection に関しては、すべてのビデオアプリケーションと Acrobat 8 Professional に対するアップデートが必要です。Acrobat 8.1.2 Professional へのアップデートならびにビデオ製品のアップデートは全て公開済みですので、全ての CS3 製品は Mac OS X Leopard に対応しました。（2008 年 2 月 6 日現在）

**Q. Acrobat 8.1.1 Professional のアップデートが提供される前に、Mac OS X Leopard 上で Design Premium、Design Standard、Web Premium を使用することを推奨しますか？**

**A.** はい。アドビでの動作検証によると、Mac OS X Leopard 上での処理は全体的に信頼性高く、かつ安定しており、Leopard 上でこれらの Creative Suite 3 エディションを実行する方が、メリットが多いと言えます。現在のところ、これらの CS3 エディションでアップデートが必要なのは、ある特定の問題への修正が必要な Acrobat 8 Professional に限られています。このアップデートは既に公開済みです。Leopard 上で Acrobat 8.1.1 Professional を実行する際の問題点について詳しくは、[www.adobe.com/go/support\\_jp](http://www.adobe.com/go/support_jp) にアクセスし、オンラインで技術情報を検索してください。

**Q. Production Premium および Master Collection に対する当該アップデートが提供される前に、これらのエディションを使用することを推奨しますか？**

**A.** はい、推奨できると考えています。アドビでの動作検証によると、Mac OS X Leopard 上でビデオプロフェッショナルアプリケーションを実行する際、一部のワークフローにおいて、いくつかの問題が発生することが判明しています。これらの問題は、ビデオプロフェッショナルの多くが日常的に遭遇する類のものではありませんが、アドビの品質水準を満たせるよう、2007 年 12 月に問題点を修正するためのアップデートを提供する予定です。（2008 年 1 月 29 日現在、アップデートはすべてリリース済み）問題点の詳細については、[www.adobe.com/go/support\\_jp](http://www.adobe.com/go/support_jp) にアクセスし、オンラインで技術情報を検索してください。Master Collection に関しては、プロフェッショナルビデオアプリケーションと Acrobat 8 Professional の両方に対するアップデートが必要です。なお、他の CS3 エディションに対する推奨事項は、Master Collection にも該当します。

**Q. 体験版の CS3 アプリケーションは、Mac OS X Leopard に完全対応していますか？**

**A.** 正規製品版が Mac OS X Leopard に対応していれば、当該製品の体験版も Leopard に対応しています。正規製品版が Leopard 完全対応のためのアップデートを必要とする場合は、当該製品の体験版も完全対応のためにアップデートを必要とします。デザイン向け、ならびに Web 向けのアプリケーション（Design Premium、Design Standard、Web Premium、Web Standard を含む）には、たとえ体験モードで実行する場合でもアップデートをインストールすることができます。しかし、プロフェッショナルビデオアプリケーションの場合は、体験モードでの使用中にアップデートをインストールすることができず、あらかじめ体験版のビデオアプリケーションに有効なシリアル番号（製品購入時に提供）を入力して、制限のない正規製品版に変換する必要があります。ただし、これらのプロフェッショナルビデオアプリケーションは、たとえ Mac OS X Leopard に完全対応していなくても、Leopard 上で大きな問題に遭遇することなく体験・評価できるはずで、起こりえる問題の詳細については、[www.adobe.com/go/support\\_jp](http://www.adobe.com/go/support_jp) にアクセスし、オンラインで技術情報を検索してください。

以下に CS3 体験版の Mac OS X Leopard 対応状況の概要を示します。

## 体験版製品の Mac OS X Leopard 対応状況一覧表

体験版	Mac OS X Leopard に 対応済み	Mac OS X Leopard への 完全対応が未完了	対応状況に関する 補足
Creative Suite 3 Design Premium	✓		完全対応のためには、Acrobat 8.1.2 Professional へのアップデートが必要（アップデート公開済み）。体験版へのアップデート適用可。
Creative Suite 3 Design Standard	✓		完全対応のためには、Acrobat 8.1.2 Professional へのアップデートが必要（アップデート公開済み）。体験版へのアップデート適用可。
Creative Suite 3 Web Premium	✓		完全対応のためには、Acrobat 8.1.2 Professional へのアップデートが必要（アップデート公開済み）。体験版へのアップデート適用可。
Creative Suite 3 Web Standard	✓		
Creative Suite 3 Production Premium		✓	トライアルモードでのアップデート適用不可。体験版を正規製品に変換した後、Leopard との完全対応に必要なアップデートを適用可。
Creative Suite 3 Master Collection		✓	Acrobat 8.1.2 Professional へのアップデートが必要（アップデート公開済み）。プロフェッショナルビデオアプリケーションに関しては、体験版を正規製品に変換するまで、Leopard との完全対応に必要なアップデートを適用不可。
Acrobat 8.1.1 Professional		✓	Mac OS 用の単体の体験版設定なし。Design Premium、Design Standard、Web Premium、Master Collection 同梱の Acrobat に対しては、体験モードでのアップデート適用可。アップデートは公開済み。
After Effects CS3 Professional		✓	トライアルモードでのアップデート適用不可。体験版を正規製品に変換した後、Leopard との完全対応に必要なアップデートを適用可。
Contribute CS3	✓		
Dreamweaver CS3	✓		
Encore CS3		該当なし	体験モードの設定なし。無制限のバージョンのみ提供。
Fireworks CS3	✓		
Flash CS3 Professional	✓		
GoLive 9	✓		
Illustrator CS3	✓		
InCopy CS3	✓		
InDesign CS3	✓		
Photoshop CS3	✓		
Photoshop CS3 Extended	✓		
Adobe Premiere Pro CS3		✓	トライアルモードでのアップデート適用不可。体験版を正規製品に変換した後、Leopard との完全対応に必要なアップデートを適用可。
Soundbooth CS3		✓	トライアルモードでのアップデート適用不可。体験版を正規製品に変換した後、Leopard との完全対応に必要なアップデートを適用可。

**Q. Adobe CS3 アプリケーションは、64 ビットオペレーティングシステムで利用可能な、より大量の RAM 容量のメリットを受けることができますか？**

**A.** はい、受けられます。Creative Suite 3 アプリケーションはすべて 32 ビットプログラムであり、2<sup>32</sup> バイト（4 GB）のメモリをアドレスすることができます。これに比べ 64 ビットアプリケーションは、より多くのメモリをアドレスできるものの、メモリへのより高速なアクセスの欠如といった物理的な制約を受けることがあります。4 GB 以上の RAM を搭載する 64 ビットシステムで複数の CS3 アプリケーションを実行する場合、各 CS3 アプリケーションはそれぞれ物理的な RAM 配分を受けることができます。仮に 64 ビットシステムに 8 GB の RAM が装備されている場合は、After Effects CS3 や Adobe Premiere Pro CS3 といったグラフィックス処理の集中するプログラムが、それぞれ最高で 3 GB の RAM を占有できるため、結果としてプログラムの操作体験が向上します。なお、CS3 の各プログラムは 64 ビットオペレーティングシステム上で検証され、実行できることが確認されていますが、64 ビットシステムの全性能を利用するには開発されていない点にご注意ください。この件について詳しくは、アドビエンジニアの Scott Byer のブログ、[blogs.adobe.com/scottbyer/2006/12/64\\_bitswhen.html](http://blogs.adobe.com/scottbyer/2006/12/64_bitswhen.html)（英語）を参照してください。

- Q. Leopard 上で実行する CS3 アプリケーションに対して、テクニカルサポートは提供されるのでしょうか？また、旧バージョンのアドビクリエイティブソフトウェアの対応はどうなりますか？
- A. アドビでは、通常のポリシーに則って、Leopard 上で実行する Creative Suite 3 ソフトウェアのサポートを提供しています。Mac OS X Leopard (v10.5) 関連のサポート情報が検索できるナレッジベースへのアクセスと、アドビの無償・有償サポートプログラムについて詳しくは、[www.adobe.com/go/support\\_jp](http://www.adobe.com/go/support_jp) を参照してください。旧バージョンのアドビクリエイティブソフトウェアは Mac OS X Leopard での実行を前提に開発されていません。したがって、ソフトウェアのインストール・使用にあたり、解決策のない問題が生じることがあります。なお、Creative Suite 2 および CS2 アプリケーションは、アドビの有償サポートプログラムでのみサポートが提供されている点にご注意ください。



アドビシステムズ 株式会社  
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2  
ゲートシティ大崎 イーストタワー  
[www.adobe.com/jp](http://www.adobe.com/jp)

Adobe Systems Incorporated  
345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA  
[www.adobe.com](http://www.adobe.com)

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe Premiere、After Effects、Contribute、Creative Suite、Dreamweaver、Encore、Fireworks、Flash、FreeHand、GoLive、Illustrator、InCopy、InDesign、Macromedia、PageMaker、Photoshop および Soundbooth は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。Mac および Mac OS は、米国 Apple, Inc. の米国およびその他の国で登録された商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. 2/8/08